



東畑・光台・精華台地区から735人の生徒が通う精華西中学校。その数は、平成9年の開校時の4倍以上です。1・2年生7クラス、3年生6クラス、特別支援学級3クラスの計23クラスで構成しています。

生徒は「知性を磨き 豊かな心を持つたくましい生徒」の育成」という教育目標のもと、学校生活を送っています。

本年度の重点目標は「基礎・基本の定着、活用する力の育成、学習意欲の向上など質の高い学力をはぐくむ」「人を思いやり尊重する心をはぐくむ」「社会常識等の規範意識やコミュニケーション能力を高めるなどの社会性をはぐくむ」です。

本年度の主な行事

- ▶ 5月 ◆修学旅行(3年生)
東京での企業・施設訪問(東京リサーチ)や東京ディズニーランド、ディナークルーズなど、日常ではできない貴重な体験をしました。
- ◆職場体験学習(2年生)＝下写真(左)
キャリア教育の一貫として、学校近隣の事業所で3日間の職場体験学習を行いました。
- ◆校外学習(1年生)
自然体験学習により、学級で協力することで、友情を深めます。今年も滋賀県希望ヶ丘文化公園で飯盒炊爨を行いました。
- ▶ 6月 ◆農業実習(2年生)＝下写真(右)
技術家庭科の学習の一環として「田植え」「稲刈り」などの実習を行いました。
- ▶ 7月 ◆福祉体験学習
1年生が点字、3年生は手話を体験し、福祉に



○問い合わせ 精華西中学校(TEL95-3700・FAX95-3800)・精華町役場 学校教育課 学校教育係(TEL95-1906)

- ▶ 9月 ◆体育大会
3年生がリーダーシップを発揮し、全学年が6色に分かれ、練習と熱い戦いを繰り広げます。
- ▶ 10月 ◆合唱コンクール
学年ごとに金賞・銀賞を目指し、練習に励みます。PTA コーラスも参加予定です。
- ◆文化発表会
本校独自の活動で、19のコースに分かれ、劇や映画などの舞台発表、環境についてなどの発表を行います。
- ▶ 11月 ◆企業訪問(1年生)
関西文化学術研究都市にある研究施設などを訪問し、説明を受けます。
- ▶ 12月 ◆全校意見発表会
生徒の人権意識を高めることや表現力の向上を目指し、学年から選ばれた代表が全校生徒の前で自分の意見を発表します。
- ▶ 2月 ◆スキー学習(1年生)
自然体験学習として、富山県極楽坂スキー場で2泊3日のスキー学習を行います。
- ▶ 3月 ◆福祉体験学習(2年生)
車いすバスケットの選手を招き、実際に車いすバスケットを体験することで、障害についての理解を深めます。

部活動

- ▶ 体育系 7月末の夏の総合体育大会(相楽・山城・府・近畿・全国)を目指し、毎日練習に励んでいます。部は野球、サッカー、陸上男・女、ソフトテニス男・女、バレー女子、バスケット男・女、バドミントン男・女、剣道、卓球があります。吹奏楽、美術、パソコン、家庭、国際交流、将棋・カルタ、科学技術(本年度新設)の7部が活動。吹奏楽部は、夏の吹奏楽コンクールに向け、早朝や休日も練習に励んでいます。美術部は個展開催に向けて取り組んでいます。ほかの部も文化発表会に向け、作品を制作しています。本年度は、将棋部が将棋・カルタ部に名称を変え、新たな活動を展開しています。
- ▶ 文化系

活動のひろば

小学生ドッジボールクラブ
「精華 D.B.C」

31

町内で活躍する団体・個人にお話を伺い、その活動などを紹介するこのコーナー。今回は、精華町体育協会に加盟する小学生ドッジボールクラブ「精華 D・B・C」の中西絵理さんにお話を伺いました。

精華 D・B・C について?

精華町体育協会の指導員であった小学校教諭が、担任していた児童への指導を機に7年前に発足しました。4年前に体育協会に加入。現在、21人の小学生が、西村明雄監督の指導と、保護者コーチのサポートのもと、練習に励んでいます。

全国大会を目指して

週2〜3回、東光小学校と精華台小学



さあ、来い!横に並びボール阻止!



最初は公式ボールを投げるのも難しい



私たちと一緒にドッジを楽しみましょう!

校で活動しています。練習メニューをこなし、技術を習得して対戦も行います。週末には練習試合も。

全国大会への足掛かりとなる京都予選が夏と冬にあるので、練習や試合に励む日々です。今年の春には、初めて町内の小学生を対象に大会を開催し、約80人が

参加してくれました。

「ひとり」より「みんな」で

活動を通し、子どもたちには礼儀と立心、社会的ルールを身につけてほしいと願っています。

学年を超えた仲間意識、個々がチームに大切な存在ということ、そして、みんなの気持ちが一丸となった時こそ、倍以上の力が出ることを感じてほしいです。

子どもの能力は無量大

サッカーや野球に比べ、まだまだ競技人口が少ないです。でも、始め

た子は驚くほど成長します。大きく重いボールをつかむことすらできない子が大勢いましたが、今ではほとんどの子どもたちが、コートの上を飛ばせます。

子どもの能力は限りありません。まだまだ駆け出しのチームですが、将来は全国大会への出場も目指したいと考えています。子どもたちや保護者の方々に楽しさを伝えられたらと思っています。

「精華 D・B・C」に関するお問い合わせは、精華町体育協会(むくのきセンター内・TEL98-0200)へ!